

## 第30回外務省政策会議 (概要記録)

日時：5月26日(水) 8:00～8:45

場所：衆議院第2議員会館 第1会議室

出席議員の概数：15名程度

議題：

- (1) クリントン国務長官の訪日について
- (2) 韓国哨戒艦沈没事案について

### **第1 外務省からの説明**

#### **1 クリントン米国務長官の訪日について【事務方】**

配布資料に沿って説明。

#### **2 韓国哨戒艦沈没事案について【事務方】**

配布資料に沿って説明。

### **・ 質疑応答**

#### **1 クリントン米国務長官の訪日等について**

(質問・コメント)

- ・ 岡田大臣からクリントン長官に伝えた普天間飛行場移設問題に関する日本の考え方とは何か。
- ・ 政権交代により政策が変更されたことを外務省が米側にきちんと主張・説明することが必要。
- ・ 日米外相会談に関する資料では日米関係の「強化」とあり、総理表敬に関する資料では「深化」と書いてある理由は何か。

(回答：事務方)

- ・ 普天間飛行場移設について岡田大臣は、外相会談後の定例記者会見において、日米間で調整中なので現時点では申し上げられないとした上で、沖縄の負担軽減と抑止力の維持を同時達成するために議論してきた旨説明されている。
- ・ 米側には、政治レベルの指示を得つつ、日本国内の議論の状況を説明してきている。
- ・ 日米同盟については「深化」という表現を通常用いているが、外相会談の概要ではクリントン長官発言を紹介する文脈で、日米関係「強化」との表現になっている。

#### **2 韓国哨戒艦沈没事案について**

(質問・コメント)

- ・ 韓国による調査結果をもう少し慎重に検討した方がいいのではないか。専門家の中でも

意見が割れていると聞く。

- ・ 外務省と防衛省は本事案の対応に関し、しっかりと連携しているのか。
- ・ 李明博大統領が演説で述べていた、「韓国軍も誤りがあったことを認めざるを得ない。」とは具体的に何を指すのか。

(回答：事務方)

- ・ 韓国政府から調査結果について事前に説明を受けており、今回の調査が各国の専門家も参加して科学的かつ客観的に行われたものであると認識している。北朝鮮による犯行という点では、専門家も一致している。
- ・ 韓国軍の誤りとは、事案を未然に防げなかったことを指すのではないか。

### 3 与党議員への情報提供について

(コメント)

- ・ 国民の理解を得て外交を行っていく上で、情報公開は核となるものである。
- ・ 政府内での検討事項や外交交渉に関する一般に公開できない情報を関係の与党議員に提供することについて、秘密保全措置をとるなど工夫して頂きたい。

(回答：武正副大臣)

- ・ 外務省政策会議のあり方については、関係委員会の筆頭理事等と定期的に議論してきており、その中で今後も検討していく。

(了)